

# 館林見聞記 (一)

S 生

田とすかれ畑となりてよ  
しきりも  
すまじなりたる沼ぞ悲し  
き

館林の生んだ文豪田山花袋の歌である。  
私は初めて親の膝もとを離れ三年の歳月を送った、いわば第二の故郷ともいへば館林へ、ふとした機会に恵まれて、丸三年ぶりで訪れることが出来た。

館林市は、皇太子妃美智子殿下のゆかりの地として大きく報道されたので知っている方も多いと思うが、以前から、童話でおなじみの分福茶釜の青龍寺茂林寺の所在地として有名である。私はこの、関東平野の中心に位置する静かな城下町がすこく気に入っていた。

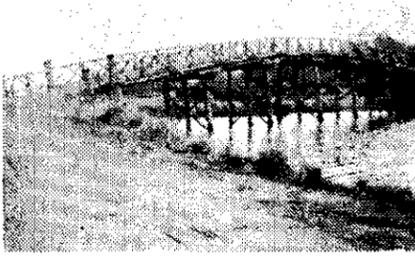
あいにく小雨が降っていたが時間の都合もあつたので、街を横切り城沼に出てみた。

明治の文学史上忘れることのできなないもの、一つとして、自然主義思潮の擡頭と共に、私生活を赤裸々と書き世間を驚愕させた「浦

田」の著者、山田花袋もまた、この城沼を愛し、ほとりに居を構えていたのであつた。

私は花袋の家が貸家となり、売家となつていけると聞き、市や県で何とかならぬものかと心を暗くした。その家の近くに元館林城主の後裔が住んでいたといわれ、お屋敷があり、今上陛下がまだ皇太子殿下であつたころ訪れたことがあると聞かされたことがあるので、入つてみる気になり、おとなつたが人の気配がない。仕方なく裏へ廻つてみると若い婦人が子供をしきりにあやしていた。

私は庭をみせて頂きたいと許可を得、改めて庭を見て驚いた。ものすごい荒れ様である。二、三年は手入れ



【写真】上はつつじヶ岡のつつじ 下は城沼の太鼓橋

れをしなかつたと思われ  
る。戦前この真庭から、つ  
つじヶ岡への眺望は天下の  
美観を誇つたというが、今  
は見る影もない。栄枯盛衰  
は世のならいかも知れない  
が、この痛ましい現実を見  
せつけられ、いたたまれな  
くなり逃げるようにして解  
し沼に下りた。

城沼は六ヘクタール位は  
あるだろう。この沼を横切  
る唯一の橋、太鼓橋が赤く  
くつきりと浮かんではい  
る。そして石一つない道が沼に

れをしながらと妻だき長き田植  
終る 終る 終る  
雨晴れて早乙女の帯の目に  
古酒新酒厨房に満ち春はゆ

雲低き梅雨の泥田に稚魚放  
谷川の青葉をくぐり舟すべ  
三尺寝人の噂をききながら  
幼児駆く一つの蝶に繰られ

クタールで、山つつじをは  
じめ霧島、れんげ、さつき  
等二十余種、その数五千本  
と云われ、樹の高さ五メー  
トル、直径十四・五センチ  
にも及ぶ大きいものもあつ  
て、私達雪国の山つつじと  
は比較にならない程の大株で  
ある。私は園内のあずまや  
に老夫婦を誘い、問われる  
ままにつつじヶ岡の悲しい  
由来を語つた。

慶長十年、時の館林城主  
榊原康政の側室に、お辻の  
方という絶世の美女がいた  
が、正室の花房は、もしお  
辻に男子でも生れては後々  
の為によくないと、あらゆる  
手段を用えてお辻を虐待  
した。お辻は思いあまつて  
春もおぼろな三月六日の夜  
侍女お松と共に城沼に入水  
自殺をしてしまった。城主  
康政はいたく悲しみ、生前  
お辻が好んでいたつつじの  
一株を沼の南端のほとりに  
植え、その霊を慰めたので  
あるが、心の支えを失つた  
康政は翌年お辻の後を追ひ  
黄泉の客となつた。

それより二十二年後、寛  
永四年康政の孫忠次が、領  
内の新田郡田島郷から勾当  
遺愛のつつじ八百八株を移  
植し、代々の城主がこの花  
の保護に努めた。これがつ  
つつじヶ岡公園の由来であ  
る。

今でもお手植のつつじが  
半分枯れかゝつて残つてい  
るが、三百五十年も経つて  
いる今日はたして本当にお  
手植のつつじかどうか疑問  
ようやく雨も止んだので  
私は遠来の旅人と別れ、更  
につつじのトンネルをくぐ  
りながら、その昔美しい姫  
君達が、花の色に染まりな  
がら、やはりこの木の下を  
通つたに違いないと想像し  
ながら公園を後にした。

**招魂祭執行**

昨年より復活した招魂祭  
が、十二日午前九時より桔  
梗原において、村傷痍軍人  
会、遺族会の共催により来  
賓御遺族多数参加のもとに  
厳かに執行された。

**子どもの気持**

村の教育委員会では、婦  
人学級の資料とするため、  
このたび村内の小中学校の  
子供たちの作文を集録し、  
部落に配布したが、これが  
各家庭に回覧され、夕食後  
の家庭団樂の中で、子供に  
読んでもらうなどして、非  
常に反響をよんでいるが、  
教育委員会では、この資料  
が、ただ家庭の話し合いに  
とどまることなく、みんな  
の集りなどに、大いに利用  
されることを望んでいる。



発行所 館林公所  
印刷所 中里村公所  
十日町新

## 七川 稻荷川 準用河川に編入



高橋村長

年々七川、稻荷川は雪解  
け期、雨出水時には全川を  
通じ大きな災害を出し、交  
通はもとより、人家、耕地  
に極めて大きな被害をあた  
え、これの復旧及び治水費  
には年々多額の金を要し、  
関係住民の経済を圧迫し、  
村の負担も又財政上に大き  
な比重を示し、今日いたる  
ところ被害を蒙つた儘放置  
されていく現状となつてい  
る。ひと度このような中に  
出水に見舞われたら、その  
被害は実に想像の出来ない  
大きなものとなるだろう。  
そこで村では、関係住民と

一緒になつて知事に対し、  
この両川を県の管理として  
もらいたいと再三請願を重  
ねてきたが、ようやくこの  
度県報を以つて七月一日  
付、河川法に規定した事項  
を準用する河川に認定する  
旨、次の通り告示があつ  
た。▽七川川左岸中星村大  
字田沢字二俣口、右岸同村  
大字田沢字藤掛地内村道橋  
藤掛り橋以下信濃川合流点  
に至る。

▽稻荷川川左右岸とも中里  
村大字倉俣小弓返り地内第  
三号砂防北堤以下清津川合  
流点に至る。

ちなみに両川の治収費、  
水害損失額をみれば、茲十  
年間八千万円にもものぼつ  
ている。

準用河川とは、前記の通  
り河川法を準用するもので

民踊は年々盛んになつて  
ゆきますが、しかし単に踊  
ることのみであつてはなら  
ない。踊ることが何故よい  
か少し考えてみたい。

社会人は教育を受ける意  
志が、学校に於ける児童生  
徒より極めて少ない。故に  
同じ体育を行うにも、本質  
的な体育というよりむしろ  
大部分レクリエーションと  
して民踊を行うのです。従  
つて民踊は社会体育の一つ  
であつて、社会教育活動の  
中で、主として身体的運動  
を通じておこなう教育であ



### 社会体育と 民踊について

り、健康で有能な人をつ  
くりあげようとする教育活動  
であります。

ではどんな効果があるの  
かといふと、

(1) われわれの人生に楽しみ  
と明るさを与える。

(2) 生活を楽しくむことによつ  
て早く仕事の疲労を拭い  
去り

(3) 職業による悪影響を出来  
るだけ防止し、又固癖を  
矯正するに役立ち

(4) 健康な心身をもつ人をつ  
くることによつて、生産  
能率を高め

大勢で踊ることにより社  
会性を涵養することがで  
きる。

等々、その意義は極めて  
大なるものがあります。公  
民館では今年も民踊講習会  
を左記により行う計画をた  
てていますが、老人も若い  
人も多数参加し、楽しいひ  
とときを送り、明日への原  
動力として頂きたいと思  
います。

期 日 会 場

七月二十二日 貝野小学校  
七月二十九日 倉俣小学校  
七月三十日 高道山小学校  
七月三十一日 田沢小学校

尚右開会時間は何れも午後  
八時より十時迄です。

## 水難事故防止は みんなの協力で

雨雲の間からときどき照  
る陽射しは一日と強くな  
つて来て、本格的な夏の来  
るのも間近である。子供達  
は涼を求めて川へ行くこと  
が多くなると思いますが、  
毎年七月から八月にかけて  
最も水難事故が多く発生し  
県の統計によると、海より  
も川に多い。

昨年の県内児童生徒の水  
難事故による死亡者数は、  
小学生が三十三人で最も多  
く、中学生八人、高校生一  
人で、計四十二名の犠牲者  
を出しています。

尚この内訳をみると水泳  
よりも遊びに行つての事故  
の方が多いためです。

教育委員会では学校に対

し次のような点に留意する  
よう通知しましたが、学校  
だけにまかしておかず地域  
や家庭に於いて協力しなけ  
れば、大切なわが子の生命  
を水難から守ることができ  
ないと思ひますので、みん  
なで注意し合ひましょう。

指導上の注意

◇安全な水泳区域を設け管  
理者を配置する。

◇学校の水難防止対策を家  
庭及び地域社会に周知さ  
せること。

◇二人以上の組をつくつて  
行動し、うち一人以上の  
ものが交代で監視の任に  
当るよう指導する。

◇行先、友人名、帰宅の時  
刻などを保護者に告げ、  
許可を得る様に指導する

# 道徳教育上の諸問題

福原滋

文部省と日教組が四つに組んで論争して来た道徳教育という大相撲も、社会の多くの素朴な人々の支持により文部省の寄り切り勝ちに終わったかの様にみえる。しかし道徳教育の問題は文部省と日教組だけの問題ではなく日本人全体の問題であるから、私達も真剣に考えてみなければならぬ。

一口に道徳教育といつても大きく分けて、いくつもの問題にわけて考えてみる。

(一)道徳は絶対にかわらないか

今から千二、三百年位前の奈良、平安時代には氏ノ上、氏人、部、奴、卑、と階級制度がきびしく守られていた。氏ノ上は一族の長、氏人は一族の主立、部は小作人又は奴隷頭、奴は奴隷である。氏ノ上、氏人は完全なる自由人であり、部は若干の制限をのぞいては自由であった。奴隷である奴卑は全く自由がないばかりでなく、氏ノ上や氏人の所有する労働力という一つの財産であつて、そのあつかいは家畜と同じであつた。

あつた。氏ノ上や氏人は奴隷を持つことに後めたきを感じるところが、多く持つ事に誇りを持つていた。一方奴や卑も自分達の生活に悩むのうたがも持たなかつたのである。人を人としてあつかふ事は当然とされていたのであつた。鎌倉足利時代にも下人と称する奴隷がいた。徳川時代の道徳は士農工商という階級をきびしく守る事にあつた。身分に満足し階級制度の不合理性を考へないことが美德とされ、家の中にも男と女、長男と次三男、父と子という厳然たる階級制度が持ちこまれていた。しかし白井権八が旗本に反抗した事に代表される様に庶民はじよじよにはあるが階級制度をくずしていつた。忠臣蔵は今も人々にもてはやされる。吉良上野介の悪人ぶりがいかにもすさまじく、四十七士の苦心は人々の同情を買ふ為である。しかし冷静に考へてみれば吉良上野介の首を切つたとて浅野内匠頭の命が取りかえされるものでもなく、御家の再建が出来るはずもないのである。ではなぜ四十

## 言葉について

生

言葉は自分の考へていることの象徴ですが、極めて千変万化な不完全な象徴であるといふことが出来た。例を上げるならば、私がここに「雪」と云つてもみなさんにどのようなイメージを与えるでしょうか。或る人は、阿寺山にほんのり薄化粧をしたように降り積つた雪を連想するかも知れないし、又他の人は、自分の家の庭に積つた雪を思い起すかも知れません。

即ち「言葉は単純に見えるけれども、個人個人の既往の経験に依り、別々に解釈されるもので、必ずしも両方に同一の価値をもつていゝものではない」と、アメリカの教育家ブランドマーシュニズは云つています。そこで我々は言葉を余程慎重に使用しなければ、自己の意思を満足に伝えることが出来ないと思ひます。時には誤解される場合も多いので

強く要求された薩長の藩閥をよしとする者もない。道徳は時代と共に変わるから、親が子に、大人が子供に、教師が生徒に自分の道徳観をおしつけることは可愛い子供達の成長を害する事になる。では道徳教育はできないであらうか、そうではない。これらの道徳教育は「どうしたら、自分も友達も、隣の人達も幸福になれるか」を「考へ、実行する」態度、習慣を育てることであらう。

つて言葉には靈魂がこもつていて」と云う「言葉の思想」がありますが、言葉に靈魂がこもつていゝかどうかはわかりませんが「良い言葉は良い心より出た言葉であり、悪い言葉は悪い心より出た言葉である」とことに間違ひはないでしょう。

この良い心より出た言葉は又美しい言葉であり、美しい言葉が又良い霧田氣をつくり出すことは云うまでもありません。

(次号へ続く)

## これからの稲の病害虫三つ

イモチ病

永井秀夫

梅雨もあけ、本格的な夏がやってきました。暑い夏になりますと、いろいろな病害虫も出てきます。苦勞して育ててきた作物を病氣や虫にやられないように守つてやることに、これからの大切な農作業の一つと言えます。

◇

古くして新しいイモチ病

昨年は、頸イモチ、枝梗イモチにやられて、「ハザ」の下が敷いたように粉が落ちました。今年はこんなミジメな目にあわないように今から心がけなくてはなりません。

イモチ病は、天候の具合によつて発生が随分違つてきます。一口に言つて湿度が高く、湿度が多いとたくさん出て来ます。

去年のように七月、八月の天候の具合で、葉イモチ病が少なかつたのですが、八月の中ば過ぎから九月に入つてイモチ病菌が広が

去年あたりから大部あちこちに出はじめました。水際に指で押したような白い紋が出来ます。この紋がだん／＼上の方に広がつていき、多いときは二、三割の減収があります。

これには今まで良い薬がなかったのですが、今度「モンゼット」という良い薬が出来ました。しかしこの薬は使い方の充分農協や普及所の指導を受けて使つて下さい。

大体次のようなことを基準にして使つて下さい。

①成熟期に草丈の半分位まで枯れた田に撒く。乾田早性から中性に被害が多いし、湿度の高い年に発生が多い。

②粉剤三割、水和剤で二千五百倍を株元に着くように均一にまく。むらになると被害がやすす。

③撒布時期は大体七月十日頃から二十五日頃になるようですが、天候によつて随分異なります。

④葉害は分けつ最盛期と穂朶み期、播種期に特に大きい。

以上のようなことですか、薬を撒布しようとする時は是非御相談下さい。

見付けにくい「ウンカ」類

ウンカ類では、この地帯で「モジロウンカ」「トビイロウンカ」「ツマグロコバヤ」の三つ位と覚えて下さい。実物を見ながら覚えるのが一番です。

薬はセジロとトビイロはBHCで良いのですが、ツマグロコバヤは、BHCではダメ、マラメソというのを使います。

その時期になりますと、技術員も廻つて行き、消毒するかどうかなど決めたいたと思ひます。大体次の様な所に注意して下さい。

(1)通風の悪い所、山陰、屋敷周辺、堤防沿に注意。

(2)成虫よりも幼虫(小さくて仲々見付けにくい)に注意。この被害も大きい。注意。意田ほの中にも注意。

(3)灯の下にとんでくる虫を良く見ておくこと。

などです。

子供、川に落ちて死ぬ

一日午後四時頃、通り山農業樋口一三さん方二女洋子ちゃん、遊び中裏の用水路に落ち溺死した。

村民球技大会 勝敗よりも参加!!

公民館及び青年会共催で例年行つて来た村民球技大会を今年も社会体育の振興と、村民相互の親睦をはかる趣旨のもとに、八月二日に挙行すべく準備を進めておられます。

種目は野球、卓球、籠球、排球の四種目であるが、みんなの積極的な協力と参加を期待している。

具体的計画については後日青年会の責任者等を通じて発表する。

新購入図書紹介 (公民館)

困つてゐる「二〇の教育問題」梅根悟「青年への手紙」柳田謙十郎他「青年の心理と教育」野上俊夫「子供をめぐる村の道徳」後藤敏夫他「戦後日本の思想」久野久他「日本の歴史」五・読売新聞社「政治、経済・大宅壮一」「主婦の生活設計」山本雅雄他「テラ」の生し方・大島義治「面接」堀川真義「セルフサイ」の仕方、栗屋義能「アタク・アク・レール・エイエル」の「農家のふだん着」「農家の衣生活」「現代夫婦論」亀井勝一郎「新潟警察史」

農 業

「イネ作の相談」菅原友太「農業便覧」香月繁孝他「富農気象観本」中原孫吉「図説農業経営」加藤育三他「図説新しい稲作」天野克巳

小説

「牧歌」草川俊「夢去りぬ」井上友一郎「男が爆発する」柴田謙三郎「素足の娘」佐多稲子「夜を背に屋を」おもてに「佐多稲子」「鎮西八郎」南条範夫「海の地図」石原慎太郎「梨の花」中野重治「おれには朝がない」北小路正彦「三太記」伊藤永之介「記念碑」堀田善衛「大阪城物語(1)」村上元三「生きてゐるユダ」尾崎秀樹「地獄の底までつき合うぜ」松浦健郎「一日の死」山川方夫「牡丹のある家」佐多稲子「代償」佐野洋「迷子の天使」石井桃子「剣魔主膳」朱雀八郎「湖畔の人」源氏鶏太「妖怪を見た」小堀基三「青い梢」北条誠「統推理試験」三宮桂景「人間の壁」後編「石川達三」新編夢介おと旅「山手樹一郎」「三つ首塔」横溝正史